

令和6年度 施策評価シート

1. ふじみ野市将来構想 from 2018 to 2030 における位置づけ

施策体系	分野	03 子育て・福祉 ～みんなで支え合う思いやりのあるまち～	
	施策	10 高齢福祉 ー高齢者がいきいきと暮らせる地域づくりを進めますー	
重点プロジェクト			
総合戦略		ふじみ野市における安定した雇用を創出する	
主管課	福祉部 高齢福祉課	評価責任者	船津 誠
		評価日	令和7年6月2日
関連課	協働推進課、文化・スポーツ振興課、環境課、社会教育課		
目標	高齢者が知識や経験を生かしながら、地域社会の中で趣味の活動やボランティア活動、就労などを通じて積極的な役割を果たし、生きがいを持っていきいきと健やかに暮らせる環境づくりを進めます		
施策目標の実現に向けた取組	(1) 趣味やボランティア、交流活動の促進 ○高齢者が地域で生きがいを持って暮らせるよう、スポーツ・レクリエーション・社会参加・世代間交流などを促進します。 ○高齢者がこれまで培ってきた知識や経験を様々な分野で生かし、ボランティア活動や地域づくりなどを通じて積極的に活動できる環境を整備します。 ○高齢者の閉じこもりを防ぎ、積極的に地域で活動できるよう、移動手段の確保を図ります。		
	(2) 就労機会の拡充 ○高齢者の就労について中心的役割を果たすシルバー人材センターと連携し、就労相談や就労機会の拡充に努めます。		

2. 施策指標と達成状況

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する指標です。

施策指標	指標1	指標名	シルバー人材センター会員数【総合戦略】							
		説明	会員数は令和5年度より5人減の1,912人となったが、センター周知の取組やWeb入会説明会、入会までの期間短縮等の会員増加策により、新規入会者は235人で令和5年度より21人増加した。							
		単位	人							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	2,200	2,250	2,300	2,350	2,400	2,450	2,500	
		実績値	1,912							
	指標2	指標名	高齢者の施設利用者数（おおい老人福祉センター）							
		説明	老人福祉センターの延べ利用者数は、41,140人で令和5年度より2,936人増加した。昼びんやセンターで実施する講座等の参加者の増加により、新規登録者や来所者が増えている。							
		単位	人							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	40,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	45,000	
		実績値	41,140							
	指標3	指標名	お出かけサポートタクシー利用者数							
		説明	利用者の利便性の向上を図り、令和6年度から補助上限額を600円から800円に増額したが、市内公共交通機関の利便性の向上やタクシー料金値上げ等の影響を受け、延べ利用者数は令和5年度より減少した。							
		単位	人							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	17,500	18,000	18,500	19,000	19,500	20,000	20,500	
		実績値	15,835							
	指標4	指標名	介護支援ボランティアの登録者数							
		説明	目標人数には届かなかったものの、令和5年度末から10名増加した。また、新規受入施設は8か所増加した。							
		単位	人							
	成果	年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値	260	270	280	290	300	310	320	
		実績値	222							
	指標5	指標名								
		説明								
		単位								
		年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
		目標値								
		実績値								

3. 施策への投入コスト

(単位：千円)

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度
支出	事務事業費	124,182	0	0	0	0	0	0
	人件費	27,757	0	0	0	0	0	0
収入	特定財源	849	0	0	0	0	0	0
	一般財源	151,090	0	0	0	0	0	0

4. 評価対象年度の施策実施内容

※網掛けの指標は後期重点プロジェクトに該当する取組です。

	実施内容	実施実績と効果	主な事務事業
取組①	第9期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の進捗管理及び第10期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の策定	介護保険等運営審議会（年間3回）において、第9期計画の進捗管理及び第10期計画策定に係る審議を行い、第10期計画（認知症施策推進計画）策定に係る調査を実施した。	高齢者保健福祉計画推進事業
取組②	【総合戦略】 高齢者の就労機会の拡充	シルバー人材センターとの連携により新たにふじみ野市版のチラシを作成し、市報と一緒に全戸配布した。また、市社会福祉協議会と連携し、社協だよりにより会員のインタビュー記事を掲載した。	シルバー人材センター支援事業
取組③	お出かけサポートタクシーの事業の実施	高齢者等の交通手段及び外出の機会の確保を目的に実施した。令和6年4月から助成上限額を600円から800円に増額し、また、タクシー事業者からの声掛けやタクシーの車体に貼るマグネットステッカーの刷新など、更なる事業の周知に取り組んだ。	長寿推進事業（一部）
取組④	大井総合福祉センターの適正な運営	各種事業の実施により、高齢者の健康づくり及び介護予防に取り組むとともに、センターの機能強化を図り、地域包括支援センターつるがまい及び市民大学ふじみ野を移転し、障がい者余暇活動支援としてりあんスペースの整備を行った。また、第4期指定管理者の選定を進めた。	大井総合福祉センター管理運営事業
取組⑤			

5. 評価

評価	
指標の達成状況	第9期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画により事業がおおむね順調に進められている。
順調	お出かけサポートタクシーは、令和6年4月から助成上限額を600円から800円に増額し、利用の促進を図った。
行政資源の活用	大井総合福祉センター（以下「センター」という。）では、市内西側地域の介護予防の拠点として整備した「ふじみんびんしゃんホール」での事業実施が定着し、延べ18,920人（昼びん10,431人（介護予防サポーター含む）、その他8,489人）がホールを利用した。また、令和6年9月にセンター3階に「地域包括支援センターつるがまい」を、4階に「市民大学ふじみ野」を移転し、10月には3階に障がい者の余暇活動支援事業として、「りあんスペース」を整備し、センターの有効活用及び機能強化を図った。利用者数は増加傾向にあるが、さらなる利用者の獲得や健康づくり、介護予防の推進を図る必要があるため、シルバー・eスポーツやモルック、卓球など、利用者のニーズを把握しながら人気の高い取組を進めていく。
適切	
取組の有効性	
有効	
施策の効果	
効果が得られている	